

活動紹介

千葉県森林インストラクター会

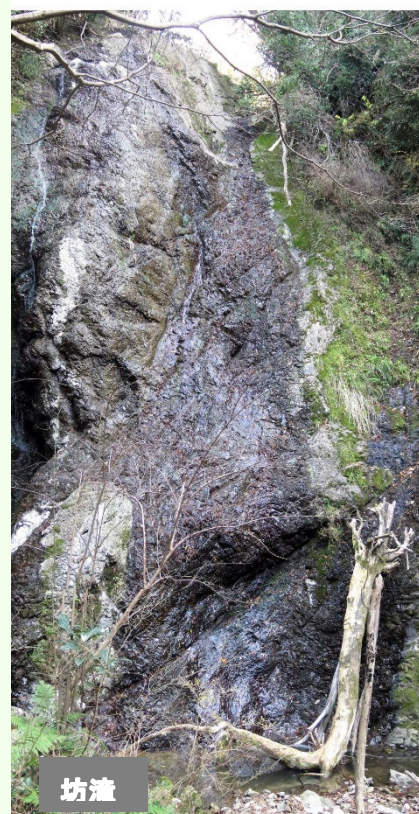
活動分野	南総部会 中央・九十九里部会 合同例会		
タイトル	遊歩道の整備された「房州低名山・大日山」と郷土環境保全地域の石堂寺の森		
実施日時	平成31年1月19日(土) 9時30分~15時		
実施場所	南房総市		
受講者	名	F I C会員他スタッフ	4名

活動の内容

大日山(標高333m)は南房総市、旧三芳村増間(ますま ☆豊臣の落人部落との興味ある言い伝えのある集落)にあり、整備された遊歩道を辿って上ることができます。大日山駐車場から「増間七滝」を巡る増間林道を北上、最初の滝は落差10mほどの前截引の滝ですが、この滝と最後の坊滝以外は林道からはよく見えません。この道は各種山野草が多いのですがこの季節は花もまばら、それでもキチジョウソウの赤い果実、アオイスミレやゲンノショウコ(狂い咲き?)の花など、ライバルが少ないだけに目立ちます。

特記すべきは、森の林床が一面アオキに覆われていること! 房総の森はシカによってアオキが殆ど食べ尽くされてしまっていますがここは例外のようです。資料によると、房総地域では半島最南部以外ではこの地域だけが何故か、例外的にシカの分布が見られない様です。

そのうち林道債奥の「坊滝」に到着、落差25mで殆ど垂直に近く見応えがあります。惜しむらくは水量が少ないことでしょう。ここから大日山の登山道が始まり最初はかなり急な坂道ですがすぐに傾斜は弱まり、30分程で山頂に。山頂は眺望が開け、富山や鋸山、三浦半島、伊豆大島、もちろん富士山の眺望も見事です。山頂で昼食、帰途は県道に直接下る遊歩道を辿りました。



坊滝



キチジョウソウ



林床のアオキ

午後は車で移動し天台宗の名刹で知られる石堂寺へ、ここにはバクチノキ、スタジイ、ホルトノキなどの大木が見られます。又、3建造物と十一面観音像の国指定文化財や、波の伊八の彫刻16点も一見の価値あります。石堂寺周辺の郷土環境保全地域の森も見所ありますが、時間も迫っていたため次回廻しとして帰途につきました。



ホルトノキの巨木・石堂寺